

令和2年度 神奈川県高等学校ゴルフ選手権代替大会兼関東大会予選

開催日：令和2年8月31日(月)

開催コース：レインボーカントリークラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

(a) アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

(1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(2) グリーンの前後やフェアウェイにあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。

(3) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。

(4) 動かさない障害物と白線につながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

3. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。

(b) ペナルティエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

4. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

5. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋷を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰：規則 4.3 参照

6. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習(規則 5.2)

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

8. 移動

プレーヤーやキャディーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。ただし、委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除く。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車して移動することが承認される。

このローカルルールの違反に対する罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がプレーするホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

- ローカルルール 5.項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。
- 打放し練習場の使用は禁止とする。
- アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 川原 智

距離表(R グリーン使用)

ティグラウンド 男子:青マーク 女子:白マーク

OUT

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	4	5	3	4	4	5	4	3	4	36
青マーク	339	478	410	148	449	301	174	519	429	3247
白マーク	325	460	378	130	432	286	162	497	412	3082

IN

HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
PAR	4	4	3	5	4	4	4	3	5	36	72
青マーク	407	351	493	155	503	206	355	397	426	3293	6540
白マーク	389	330	483	131	480	186	345	381	413	3138	6220

A 特別大会における追加のローカルルール

1. 3番・11番・14番ホールにおいて左側のカート道路を越えた球の処置について

上記のホールにおいてカート道路を越えた球の処置について以下の選択肢がある。

- (1) そのままプレーする（罰打はない）
- (2) カート道路の内側で、ホールに近づかず、カート道路より2クラブレングス以内の場所にドロップし、1罰打を加えプレーする。球を取り戻すことができない場合は、別の球に取り替えることができる。

2. 規則 12.2 の修正

プレーヤーは規則 12.2 に基づいてバンカーをならす場合、バンカーレイキの代わりとして足やクラブを使用してならすことができる。(バンカー内に関するすべての他の規則は修正されず適用される)

B 特別大会における推奨事項

本大会においては、プレーの際に旗竿をホールに立てたままプレーすることを推奨する。

C 特別大会における注意事項

本大会は、研修の部を同時開催しているため、前進四打のマークがコース内に設置されている。団体の部及び個人の部に参加している選手は、前進四打は適用されないので注意すること。なお、前進四打のマークは、動かせる障害物として扱い、球がマークに寄り添って止まっている、またはストロークの際に障害となる場合は、規則 15.2 に基づいて処置をするとともに、ストローク終了後にマークを元に戻すこと。

大会参加者が前進四打を使用してしまった場合の処置

規則 14.7 に基づいて2罰打を加え前の位置に戻って（ティグラウンド）プレーをしなければならない。この訂正のプレーを行わなかったときは、失格となる。